

こどもたちを地域で見守る。わたしたち、

青少年補導員です

こども政策課

☎ 32-8034 FAX 76-5103



令和5(2023)年の豊田警察署管内における少年補導件数は令和4(2022)年から約4割増加。深夜徘徊や喫煙が約9割となっています。これらの問題の解決やこどもたちの健やかな成長には家庭・学校・地域社会などが連携協力して取り組むことが必要です。今回は、この地域においてこどもたちを見守る活動で重要な役割を担っている青少年補導員を紹介します。

青少年補導員ってなに

青少年の心身ともに健やかな成長を願い、その健全育成を地域ぐるみで推進するために日々さまざまな活動を行っています。補導員は30歳以上75歳未満で行政区長の推薦により市が委嘱。現在、市内では小学校区に1人、中学校区に2人の合計16人の補導員が活動しています。



どんな活動をしているの

こどもたちの生活の様子を把握したりこどもに悪影響を及ぼすと考えられる要因を早期発見したりと、地域においてこどもの見守り活動や非行への未然防止活動を4つの中学校区に分かれて行っています。

●街頭補導活動

毎月1回、主に市内の商業施設を巡回しています。8月の三大夏まつりでは、花火や踊りの終了後に会場周辺を巡回し声掛けを実施。他にも日常的に、日没後に屋外で遊ぶこどもたちに早めの帰宅を促したり安全な場所で遊ぶよう声掛けをしたりして非行や犯罪に巻き込まれるリスクを少しでも減らすように見守り活動をしています。12月には年末特別警戒活動にも参加。青色回転灯パトロール車で地域をパトロールすることもあります。地域のこどもは地域で守り育てるということを広く啓発していきます。

●会議・研修

学校や警察、他地区の補導員との情報交換を定期的に行い、問題や現状を共有します。また矯正施設などを訪問し研修を行っています。1月に行われた合同会議では、豊田警察署員から少年補導について、三好高校教員



から生徒指導状況について、豊田警察署スクールサポーター*から小学生向け情報モラル教室についての講話を受け、青少年補導に関してその重要性を再認識していました。

*こどもの犯罪防止などために学校や教育機関と連携して活動する人



補導員さんに聞いてみました



Q 補導員になったきっかけは？

- 先輩補導員さんに「一緒に活動しませんか」と声を掛けていただいたのがきっかけです。同居している孫たちが小中学生ということもあり、地域のこどもたちの見守り活動を試みようとして引き受けました。



Q 活動する中で大切にしていることは？

- こどもの気持ちに寄り添い、威圧感を与えないような優しい言葉掛けを心掛けています。
- 曜日を変えるなどして見守り活動をしています。
- あなたのことを心配しているんだよ、という姿勢で話すようにしています。



Q 活動時、印象に残ったエピソードは？

- 小学生から感謝状やメッセージをいただき、とても楽しみに読んでいます。
- 公園などで声掛けした際に元気な声で返事をしてくれたりすぐに行動してくれたり、自分自身も気持ち良く元気になれます。
- 青色回転灯パトロール車で巡回していると幼児から中学生まで、たくさんのこどもが手を振りあいさつしてくれるのでうれしいです。



Q こどもたちを取り巻く環境が変わってきている中で、地域でできることは？

- 周りの大人がこどもたちのことを大切に思っているということを伝えるため、地域イベントなど一緒に活動する場を積極的に設けていくと良いと思います。
- 家庭、先生、地域がお互いに連携を取って悩みを持つこどもに寄り添える環境をつくるのが大切です。
- 例えばスマートフォンやインターネットに対する安全教室を地域や学校で開催していくことも必要だと思います。
- 地域の中で「おはよう、〇〇さん」と名前で声を掛け合える関係を築ければ、こどもにとっても地域にとっても良いと思います。



Q 今後への思いは？

- 少しでも長くこどもたちを見守る活動を続けていきたいです。
- こどもたちへより多く声掛けをし、積極的に活動していきたいです。
- まずは自分自身の生活を見直し、交通安全に十分注意してパトロールを行っていきたいです。
- 一緒に活動する仲間をもっと増やしていきたいです。



補導員かわかみはるみの川上治美さんが昨年6月、少年補導栄誉銅章を受章しました。これは少年の非行防止と健全育成の活動に長年尽力され、多大な功労があったと公益社団法人全国少年警察ボランティア協会から認められたことによるもの。川上さんは「このような章をいただけることをうれしく思います」と話し、おやまたすく小山祐市長は「日常的なパトロール活動は地域の財産でもあります。長年に渡りご尽力いただきありがとうございます」と感謝の意を表しました。



小・中学校、高校との関わり

市内小・中学校とは、合同会議とは別に校区委員会など各学校の委員会での情報交換や、合同パトロール、入学式や体育祭、発表会、薬物乱用教室など学校行事への参加など日頃から連携を密にして補導活動を推進しています。三好高校とは合同会議での情報共有や特別補導活動として三好池まつり、いいじゃんまつりの合同パトロールを行っています。



学校の声

- 日頃からこどもたちや地域の見守り活動をしていただき、また学校生活の多くの場面でこどもたちに関わっていただき感謝しています。
- 地域の貴重な情報を共有していただき教育活動へ大いに役立っています。
- 地域の安全・安心のためパトロールを行ったり、こどもたちに温かい声を掛けてくださったりと、とても心強いです。
- 学校外でこどもたちが危険な目に遭う前の未然防止として関わっていただき、こどもたちが安全に生活できていると感じます。
- 今後も引き続きこどもたちや地域を見守り、支えていただけるとありがたいです。

豊田警察署員の話

Q 青少年補導員の活動についてどのように考えていますか？

大人から見守られているとこどもが感じることは、非行などの問題行動を未然に防止するために効果があると思います。青少年補導員の活動は、こどもたちの健全育成のためにはとても重要な活動だと考えています。日頃からみよし市のこどもたちの健全育成の活動に尽力していただいております、大変感謝しています。

Q こどもたちを取り巻く環境が変わってきている中で、地域でできることは？

SNSの普及が及ぼす悪影響の一つとしてこどもたちの孤立化があります。不登校や引きこもりなどの問題に発展する恐れがあるので、こどもたちが地域の大人に気軽に相談できるような環境づくりが大切だと思います。



こどもたちの未来のために

こどもたちは地域の宝です。次代を担うこどもたちを地域全体で見守っていくことはとても大切です。普段から地域や学校などこどもたちにとって身近な大人が関わり合い、ちょっとした異変に気付くこと、相談しやすい関係性を築いていくことが必要です。私たち青少年補導員はこどもたちの未来のために学校や警察などと力を補い合いながら、できる範囲で今後も活動をしていきます。紺色の帽子、夏は水色のポロシャツ、冬は青色のジャンパーを身に付けた人がいたら、それはこどもたちの見守りをしている青少年補導員です。巡回中にこどもたちに声をかけますので、みなさんも気軽にあいさつを返していただけるとうれしいです。

